

— 対馬市 —

平成19年12月発行



# 社協だより

社会福祉法人  
対馬市社会福祉協議会

〒817 1201 長崎県対馬市豊玉町仁位94 5  
TEL 0920 58 1432 FAX 0920 58 1183  
E-mail tsushima-syakyo@oregano.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://www.tsushima-shakyo.jp/>  
(対馬市社会福祉協議会で検索してください。)

## 対馬市社会福祉協議会 第1回 地域福祉活動計画策定委員会



誰もが安心して心豊かに暮らせる  
対馬市づくりを目指して...

10月29日 対馬市社会福祉協議会「第1回地域福祉活動計画策定委員会」  
(関連記事は2、3ページをご覧ください。)

### 今回の主な内容

- 対馬市社協地域福祉活動計画 ..... 2・3
- 歳末たすけあい募金運動・共同募金会長表彰 ..... 4
- トピックス ..... 5
- お知らせ ..... 6
- 御寄付御礼 ..... 7

この広報誌は、皆様から寄せられた会費並びに共同募金配分金で作られています。

# 対馬市社会福祉協議会地域福祉活動計画

## 1 策定の目的

対馬市社会福祉協議会では、平成18年度より、長崎県社会福祉協議会の「長崎県地域福祉活動計画策定モデル事業」の指定を受け、美津島地区をモデル地区として「対馬市美津島地区地域福祉活動計画」を策定いたしました。平成19年度、対馬市において策定される「対馬市地域福祉計画」の目標達成の為、民間の立場で何が出来るかを模索、検討し、対馬市の地域福祉の発展に寄与することを目的として、対馬市社会福祉協議会が中心となって「対馬市社会福祉協議会 地域福祉活動計画」の策定に着手いたしました。

## 2 「地域福祉活動計画」について

地域福祉のニーズが多様化、また、複雑化してきている中、従来の福祉制度の枠組みだけでは対応できなくなってきています。公的な福祉制度に頼らず、住民参加による地域の支えあいを実現していく為に、民間の施設、福祉団体、住民が協力しあって方策をまとめたものが「地域福祉活動計画」です。

また、社会福祉協議会は、住民が主体となって地域福祉活動をすすめていく民間の団体であり、社会福祉法では市町村社会福祉協議会が中心となり地域福祉をすすめていくことが定められていることから、対馬市社会福祉協議会が中心となって、今後、様々な関係機関、団体、市民の皆様にご参加いただき計画を策定してまいります。

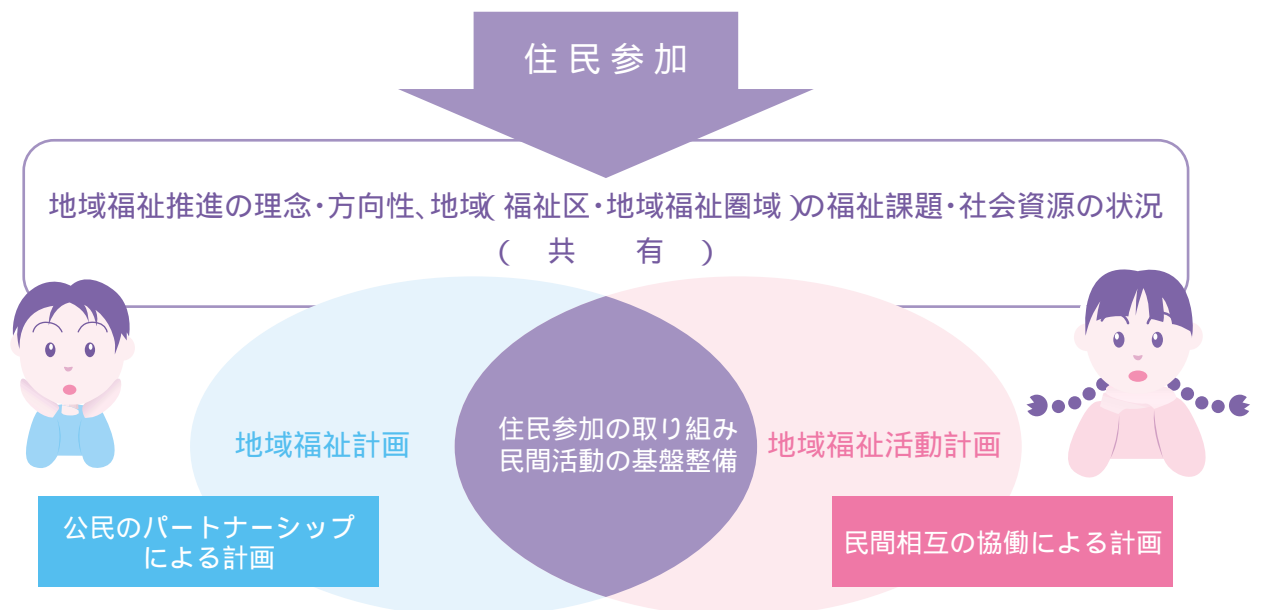
## 3 「地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」の違いについて

名称も似ていて、非常にわかり難いのですが、基本的にどこが中心的に係わるのかで違いがあります。

「地域福祉計画」は行政が行政としてその計画を作り上げる必要があり、そのプロセスとして様々な住民が参加し、その結果行政としての責任を福祉のどこを水準として設定し、行政サービスを実施するかという計画であり、一方「地域福祉活動計画」は「地域福祉計画」と同じ課題に対して住民の方々がどのように係わっていいのか具体的に検討していくことを目的にした計画といえます。

また「地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」は車の両輪といわれており、地域福祉を推進するにあたっては、行政関係者と民意を束ねる社会福祉協議会とが密接な関係を取りながら協働して行くことで、更に地域福祉の充実が図られることが考えられます。

### 地域福祉活動計画と地域福祉計画の関係



第1回策定委員会の模様



委嘱状交付式



## ----- 計画策定スケジュール -----



年 月	内 容
平成19年10月29日	第1回地域福祉活動計画策定委員会
11月	
12月10日	第2回地域福祉活動計画策定委員会（計画のあり方の検討） ワーキンググループの立ち上げ 調査方法の決定
平成20年 1月	現状課題の把握と課題整理（1月から3月）
2月	
3月	第3回地域福祉活動計画策定委員会（計画枠組みの協議） 計画の大まかな枠組みの検討 方向性についての確認 調査結果の報告（中間）
4月	
5月	第4回地域福祉活動計画策定委員会（今後の進め方について） 今後の策定体制について 作業の流れと役割分担 調査結果の報告（最終） 素案策定作業開始
6月	
7月	セミナー・シンポジウム等の市民参加のイベントの開催 （計画策定の気運を高めるため地域福祉に関するイベントを開催し、市民の意見交換の場を設ける）
8月	第5回地域福祉活動計画策定委員会（計画素案の検討）
9月	
10月	第6回地域福祉活動計画策定委員会（計画素案の検討）
11月	
12月	第7回地域福祉活動計画策定委員会（計画案の確定）
平成21年 1月	計画の公表
2月	計画書の製本・印刷
3月	計画の実施・評価



# 歳末たすけあい運動

今年も12月1日から「歳末たすけあい運動」が全国一斉に始まりました。

歳末たすけあい運動は、お寄せいただいた募金を地域で安心して新たな年を迎えられるよう援助や支援を必要とされる方々へ見舞金等として贈る運動で、住民と直結した地域福祉運動の一環として毎年展開されております。

本年も、このような運動趣旨に基づき左記のとおり目標額が定められております。市民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

目標額  
**1,893,000円**

運動期間  
**12月1日～12月31日**



各分室(地区)目標額 (単位:円)

分室名	目標額
巖原	200,000
美津島	343,000
豊玉	260,000
峰	250,000
上県	350,000
上対馬	490,000
合計	1,893,000



## 平成19年度 長崎県共同募金会 会長表彰伝達式

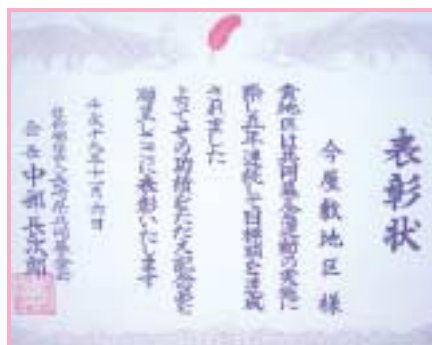
11月6日長崎市で開催の「平成19年度長崎県社会福祉協議会・長崎県共同募金会会長表彰伝達式において巖原町の久田地区、日吉地区、今屋敷地区が赤い羽根共同募金5年連続目標達成で表彰されました。おめでとうございます。



日吉地区

今屋敷地区

久田地区







### 秋の電動シニアカー

#### 交通安全講習会開催

10月19日、旧小鹿小学校（上対馬町小鹿区）グラウンドにおいて電動シニアカー交通安全講習会を開催いたしました。

本事業は、電動シニアカーの急速な普及に伴い、全国各地において痛ましい事故が発生していることから、交通規則の再確認、運転技術の向上を目指して、上対馬町で最も電動シニアカーの利用が多い小鹿地区で実施いたしました。当日は、小鹿・一重地区から7名の参加を頂き、対馬北警察署の方々の協力を得ながら、電動シニアカーの整備点検から、グラウンドに擬似道路を作り安全かつスムーズに走行するための実技指導も行われました。

最初は戸惑いがあった参加者も講習が進むにつれ、徐々に安全な走行が出来るように上達されました。今後もこのような講習会等を

各地域で開催出来ればと考えています。



警察署員の方より指導を受けました



車庫入れも真剣です

#### 第2回

### 長崎県共同募金会長杯争奪ソフトボール大会

10月28日、対馬市美津島体育館において、第2回長崎県共同募金会長杯争奪ソフトボール大会を開催いたしました。

この大会は、10月から始まった赤い羽根共同募金運動をPRし、共同募金に対する関心を高めることを目的として開催され、当日は市内より8チームの出場をいただき、終日熱戦が繰り広げられました。

#### 第4回

### 対馬市老人クラブ

### グラウンドゴルフ大会

11月20日(火)、美津島町あそつパイパークにおいて、第4回対馬市老人クラブグラウンドゴルフ大会が開催され、市内より代表の30チーム約180名が出場して競技が行われました。

この日は、会場は風が強く、寒い1日となりましたが、どの参加者も寒さを感じさせないプレーで終日競技を楽しまれていました。

#### 大会結果

##### 【団体の部】

【優勝】樽ヶ浜チーム(美津島)

【準優勝】長命会チーム(上対馬)

【第3位】樽B老人クラブチーム(峰)

##### 【個人の部】

【優勝】網本久代様

【準優勝】神田貞人様

(上対馬・大河内Bチーム)

【第3位】齊藤文治様

(豊玉 横浦チーム)

### 高齢者ふれあい

### スポーツ大会

10月19日、美津島町のグリーンピアつしまにおいて、対馬市老人クラブ連合会美津島支部主催による、高齢者ふれあいスポーツ大会が開催されました。

この日は、美津島管内の60歳以上の高齢者及び老人クラブ会員約400名が参加し終日和やかに競技が行われました。

#### 大会結果

##### 【ゲートボール】

【優勝】緒方チーム

【準優勝】久須保チーム

【第3位】竹敷チーム

##### 【パークゴルフ】

【優勝】鶏鳴第1Aチーム

【準優勝】樽ヶ浜チーム

【第3位】鶏鳴第1Bチーム



2年連続優勝!! 「ドルフィン」チームの皆さん



気分はアタックNo.1



前年度優勝「ドルフィン」チーム選手による選手宣誓



豪快にナイスショット!!



開会式の模様

# やさしい街 やさしい人

- もっと多くの人に知って欲しい! -

長男の優斗(ゆうと)は重度の障害児でした。  
 優斗との7年間の生活を振り返りながら  
 その中で学んだ幸せの意味や、家族のありがた、  
 また障害者と健常者が共に手を取り合って生きる  
 街づくりについて、お話したいと思います。

講師 **石井めぐみ**  
 (女優)

日時 平成20年1月25日(金)13:30~15:00

会場 対馬市交流センター(厳原町今屋敷)

参加対象者 民生委員・児童委員及び一般の方々

## PROFIRE

1958年 東京都出身 早稲田大学教育学部卒業

1979年 芸能界デビュー。

1996年に障害を抱えていた長男の成長を綴った『笑ってよ、ゆっぴい』を執筆し、その子育ての様子はフジテレビ「愛の家族スペシャル・ゆっぴいのばんそうこう」としてテレビでも紹介され反響を呼ぶ。現在、俳優業のほかにも講演活動など幅広く活躍。

## 開催趣旨

少子・高齢化、いじめ・自殺問題の増加など、多様な社会問題が取りざたされる中、支援を必要とする方々が安心して暮らすため、地域住民に、より密着した民生委員・児童委員の活動が求められています。本講演会は、民生委員・児童委員の役割の重要性を地域の皆様とともに再認識し、委員と地域住民の皆様との共通理解の下、今後の委員活動の一層の充実強化を目指し、開催するものです。



主 催 / 対馬市民生委員児童委員協議会連合会

## ツシマヤマネコ応援団からのお知らせ

ツシマヤマネコ応援団は、ツシマヤマネコをはじめとする対馬の野生生物を守り、次世代に引き継ぐことを目的とした市民中心のボランティアグループです。会員数は42名で、農家、公務員、獣医師、主婦、小中学生など多様で個性あふれるメンバーで構成されています。

応援団は主に、ヤマネコにやさしい森づくり、普及啓発、活動拠点である対馬野生生物保護センターのサポートに取り組んでいます。同センターでは12月から来年3月まで以下のようなイベントを予定しております。お誘い合わせの上、ご参加ください。

日 時	イベント名	場 所	講 師	内 容
12月16日(日) 13:00~15:00	牛乳パックでエコ年賀状!	豊玉地区公民館	野生生物保護センター職員	飲み終わった牛乳パックを使って、自分だけのオリジナルな年賀状を作成しよう!
1月27日(日) 13:00~15:00	どうぶつのお家づくり!	野生生物保護センター	野生生物保護センター職員	動物の巣箱を作ってみよう! 利用する動物にあった巣箱を完成することができるかな?
2月17日(日) 13:00~15:00	海鳥救護・エコキャンドル!	厳原地区公民館	野生生物保護センター職員	家庭から出た廃油を使って、キャンドルを作成しよう! 海鳥の油汚染についても勉強しよう!
3月23日(日) 10:00~12:00	春の植物観察会	野生生物保護センター	國分 英俊 先生	植物の専門家である講師が案内する対馬ならではの春の観察会! 対馬でしか見られない珍しい春の植物がみんなを待っているよ!

\* イベントに関する詳細な情報は、対馬野生生物保護センター発行の「季刊・とらやまの森38号」または、センターホームページ (<http://www.tsushima-yamaneko.jp/>) でご確認ください。

各イベントのお問い合わせは、TEL 0920-84-5577 / FAX 0920-84-5578 まで (担当: 上山・大谷)

# 御寄付 御礼

社会福祉の推進のために、多くの方々から心温まる善意のご寄付をいただきました。ここに、ご芳名(敬称略)を掲載し、謹んで亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

お寄せいただきました寄付金等は、各種福祉事業や地域福祉活動の推進のために、活用させていただきます。

誠にありがとうございました。(平成19年8月1日〜平成19年10月31日分)

## 上対馬地区

- 梅野満代(泉)  
(亡・梅野ヒラ)
- 庄司昌子(唐舟志)  
(亡・庄司嘉朗)
- 姉川君子(小鹿)
- (亡・姉川和雄)
- 平間千弘(玖須)  
(亡・平間関子)
- 浦崎久夫(鰐浦)  
(亡・浦崎延子)
- 八島満子(豊)  
(亡・八島猛)
- 修行久靖(西泊)  
(亡・修行大助)
- 阿比留元子(琴)  
(亡・阿比留禅明)

## 上県地区

- 東川美佐子(佐須奈)  
(亡・東川滉)
- 小浦初男(鹿見)  
(亡・小浦キクコ)
- 小宮茂子(佐護)  
(亡・小宮光良)
- 松田秀子(志多留)  
(亡・野方浅子)
- 小田 浄(西津屋)  
(亡・小田ジュン)
- 惣島博幸(犬ヶ浦)  
(亡・惣島仙太郎)
- 原 一生(佐護)  
(亡・原千歳)
- 山本栄嗣(佐須奈)  
(亡・山本茂子)

## 峰地区

- 以南新一(櫛)  
(亡・以南繁子)
- 橋本善博(佐賀)  
(亡・橋本久光)

## 豊玉地区

- 日高福教(鐘川)  
(亡・日高忠雄)
- 齊藤吉行(横浦)  
(亡・齊藤喜美代)

## 美津島地区

- 川崎克秀(緒方)  
(亡・川崎ミツ子)
- 村瀬春子(小綱)  
(亡・村瀬豊)

植木市男(犬吠)  
(亡・植木シズ)

黒岩洋子(竹敷)  
(亡・黒岩清)

## 巖原地区

中田敏彦(国分)  
(亡・中田正人)

山本則義(宮谷)  
(亡・山本ハナエ)

河田 誠(島原市)  
(亡・二宮ヒロ子)

## 一般寄付

スーパーサイキ(雑知)

### お詫びと訂正

9月発行「NO.12」の御寄付御礼の中で、記載内容に誤りがありました。

次のとおり訂正し、関係者の皆様に衷心よりお詫び申し上げます。

#### 上対馬地区

(誤)平間シホ子(琴)

(正)平間シオ子(一重)

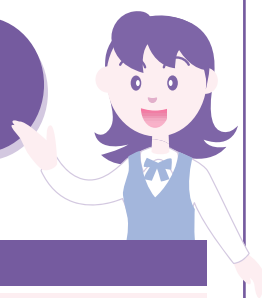




お知らせ

# 今後の無料法律相談開催予定

(平成20年1月～2月分)



相談の時間は午後1時～午後4時

相談を希望される方は必ず事前(前日の午後4時まで)に予約をお願いします。

回	月日	曜日	会場	弁護士	
28	1月7日	月	対馬市交流センター	高尾 徹	九州弁護士会連合会
29	21日	月	対馬市総合福祉保健センター	甲斐田 靖	九州弁護士会連合会
30	30日	水	豊玉町福祉センター	廣部 俊介	ひまわり基金法律事務所
31	2月4日	月	対馬市交流センター	原田 徹	九州弁護士会連合会
32	18日	月	対馬市総合福祉保健センター	宮田 卓弥	九州弁護士会連合会
33	27日	水	上対馬町地域福祉センター	廣部 俊介	ひまわり基金法律事務所

自由に  
エッセイ

先日、タイムスリップしてみました。未来ではなく過去へ、部屋の掃除をしていたら3年前の日記が出てきた。珍しく、あの頃は日記を書いていた事を思い出した。

3年前、平成16年、日記は平成16年1月1日から書かれていた。やはり、最初は字がきれいだった。平成16年は対馬市が誕生した日、日記にも当然、合併前から合併の日、そして合併後と・・・綴られていた。

ただ、日記は7月で終わっていた。原因は未だに分からない。読み返すと面白い、自分自身が書いているのに面白い。3年前の事なのに幼く感じます。

平成16年1月1日の日記から

「今日から平成16年が始まりました。20代最後の年、そして対馬市が誕生する年、仕事は忙しくなるのかな。合併したら異動もあるだろうな。今日の実業団駅伝は、中国電力は強かったな。明日は箱根駅伝、早起きして観戦しなくては、そう言えば、今日は一度も外に出なかったな。まっ、こんな2004年の幕開けでした。」

なんとも内容の無い日記だった。正月の恒例行事、駅伝観戦と合併に対する期待と不安で幕開けした3年前。

2008年の幕開けはどうなるのだろうか。天気は雨より快晴が良いな。



読者の皆さんの声をお聞かせ下さい

社協に対する質問・疑問等どんな事でも結構ですので、下記宛にご連絡ください。

連絡先

TEL 0920 58 1432

FAX 0920 58 1183

E-mail tsushima-syakyo@oregano.ocn.ne.jp